

喜多方「漢字のまち」トップ

観光庁と民間が協力して、新しい観光地をつくりだすイベント「タビカレ学園祭」が2日、

タビカレ学園祭投票

東京ビッグサイトで開かれ、参加した全国78地域から、喜多方市の古代文字をテーマにした

光地づくりの企画を募集。イベントやインターネットのサイトなどでPR活動を続けていた。

「漢字のまち」の取り組みが、来場者らの投票で総合部門トップに選ばれた。

観光庁は昨年2月に全国の観

喜多方市では、2011（平成23年）から市内の商店に古代文字をデザインした看板を掲げるなど「漢字のまち」づくりに取り組んでいる。古代文字看板の

古代文字看板で誘客

設置店は年々増え、現在では120店以上が設置。看板設置店を記した散策マップを作製し、訪れた観光客らには店主が看板の古代文字の意味について説明するなど、工夫を凝らした手法で観光誘客を目指している。

13年には古代文字を活用した観光誘客事業が観光庁の観光地再建・強化事業に採択され、漢字ガイドの育成や古代文字ミステリーウォークの企画など多彩な観光事業を展開している。